令和７年 応用生態工学会_富山地域研究会・研修会　開催案内

自然･社会環境の移り変わりからみた「とやまの河川」を考える

参加費：500 円/人（学生：無料）、定員４０名（バス定員）

地球温暖化は、私たちが経験したことのない豪雨や渇水といった異常気象を頻発させています。これは同じ自然環境の中で生存している生物にとっても生息しづらい環境になっています。例えば、魚類にとっても水温が 2℃上昇し、渇水で生息場所が限られる一方、急激な濁流を幾度も受け、河床の瀬･淵の状況も出水の度に変化しています。このような自然環境のなか、移り変わる自然に応じた河川環境の創出、対応が必要となっており、とやまの河川おいても重要な取り組みとなってきています。

一方、社会環境の変化は、プラスチックごみという新たな環境問題を引き起こし、魚類にとっても受難な河川環境になっており、安全な水産資源を考えるとその対策も重要となってきています。

富山地域研究会は、上記の課題に対し、既に研究、試行されている講師の方々に、現地で案内をして頂き、今後の河川環境にいついて講演をして頂く研修会を、下記のとおり開催いたしますので、ご参加の程宜しくお願い致します。

✧ 現地討論会　令和 7 年 11 月 28 日（金）　12：30～17：00
現地：庄川、庄川沿岸漁業協同組合連合会施設
講演：大学コンソーシアム富山（富山駅前 CiC ビル 5F）
（富山県富山市新富町１丁目２－３）
移動：富山県立大学のバスを予定

✧ プログラム

12：30	富山駅北口集合　受付・出発
13：00	富山県立大学
13：10	開会挨拶
13：20	庄川 8.0k～10.0k 付近　UAV でみる現地の状況
13：50	庄川沿岸漁業協同組合連合会施設
14：45	講演　大学コンソーシアム富山 講演１：仮称「庄川に想うこと、河川技術者に望むこと」 庄川沿岸漁業協同組合連合会　代表理事会長　田子 泰彦 氏 講演２：仮称「富山県内一級河川のマイクロ・マスプラスチックごみについて 富山県立大学工学部　環境・社会基盤工学科　准教授　久加 朋子 氏
16：50	閉会挨拶

《プログラムに変更が有る場合がありますので、ご了承願います》

✧ 会費　500 円/人（学生：無料）

✧ 意見交換会　17：30～19：30　富山駅前（会費 6,000 円/人）

参　加　申　込

･下記 QR コードもしくは URL よりお申込み下さい【申込〆切 **11/14(金)**】※定員 40 名に達し次第締め切ります

https://forms.gle/BojQ3t35pY8k3AfF8

【お問い合わせ先】
応用生態工学会　富山地域研究会　事務局
大日本ダイヤコンサルタント(株)内　(担当:林、竹澤)
E-mail：eces-toyama@dcne.co.jp

主催　：(一社)応用生態工学会、応用生態工学会　富山地域研究会
後援　：国土交通省北陸地方整備局、富山県、富山県立大学、(一社)富山県測量設計業協会
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県ビオトープ研究会

建設コンサルタンツ協会
CPD プログラム (2.66 単位)